

彩りあざやか

一人ひとりが 大切にされる まち

市民一人ひとりが健康で
いきいきと暮らせるまちづくりを
進めています。



住みやすさを
ひもとく
×
子育て・福祉

美馬ふれあいバス(デマンドバス)

乗合式のジャンボタクシーで、電話一本で自宅から病院、公共施設、駅などへ、乗り換えせずに行くことができる便利なバスを運行。



市民が健康で生きがいを感じ、安心して子どもを産み育てることができるよう、保健・医療・福祉が一体となった施策を展開しています。子育ての分野では、地域、行政、企業などの社会全体による子育て家庭への支援を図っています。特に地域子育て支援センターでは、児童福祉を専門とする主任児童委員がボランティアで参加し、育児の相談・

指導に携わっています。健康づくりの推進については、生活習慣病予防の徹底を図り、保健指導や各種がん検診の啓発・受診推奨に努めており、特定健診受診率は県内でも高い伸び率となっています。高齢者福祉の充実については、近隣や地域における見守り体制の強化に努め、地域密着型サービスの充実を図っています。

「みまっこ医療費助成」による安心の子育て
 子育て支援策の一環として、助成対象年齢を中学校修了までに拡大して実施。子どもを安心して産み育てることのできる環境づくりを図っています。



高齢者への見守り支援
 情報通信ネットワークにより、ひとり暮らし高齢者の見守りを強化しています。



教育施設の耐震化
 全ての小中学校の耐震化を実施し、安全で快適な校内環境を整備しています。



古澤英代さん

地域子育て支援センターの「びよこルーム」を利用しています。アットホームであたたかい雰囲気の中、お母さんたちの情報交換の場になっています。様々なイベントがあるので、子どもたちも楽しそうなんです。施設の先生からも気軽に声をかけていただき、子育ての不安なども相談できます。親同士の方が子どもを見とくことができたり、そんな環境が安心ですね。

私のまほろば
住人十色